

日本骨髄バンクの現状（平成 29 年 10 月末現在）

	9 月	10 月	現在数	累計数
ドナー登録者数	2,623	3,714	479,966	716,914
患者登録者数	195	224	3,721	52,265
移植例数	126	105	—	21,307

■10 月年代別ドナー登録者数（現在数）

10 代	4,116 人
20 代	71,348 人
30 代	138,714 人
40 代	205,548 人
50 代	60,240 人

■10 月の 20 歳未満の登録者 474 人

■10 月の区分別ドナー登録者数：献血ルーム／941 人、献血併行型集団登録会／2,518 人、集団登録会／199 人、その他／56 人

■10 月末までの末梢血幹細胞移植 (PBSCT) 累計数：389 件

注) 数値は速報値のため訂正されることがあります。

1 骨髄バンク推進月間報告

10 月の骨髄バンク推進月間に全国各地で多くのドナー登録会やキャンペーンイベントが開催されました。ドナー登録者数は 3,714 名で、昨年同月比 250 名増という結果でした。ドナー登録していただいた皆さま、ご協力いただいた関係者の皆さまに感謝申し上げます。11 月にかけてもさまざまな催しが開催されました。その中から一部をご紹介します。

■PR 企画展示（東京都）

東京都多摩立川保健所では、骨髄バンク公式キャラクター・コッコとズーズのイラストを使った PR 展示のほか、患者さん・ドナーさんの体験談パネル展（10 月 2 日～13 日）と春ちゃん原画パネル展（10 月 16 日～31 日）が続けて開催されました。展示と一緒に近くの献血ルームでドナー登録できることが案内され、立川献血ルームではドナー登録者数が通常の月平均の倍増となりました。

■キャンペーンイベント・啓発資材（愛知県）

10 月 15 日に名古屋市東文化小劇場で、若者を対象に骨髄バンクを知っていただくためのイベントとして、映画会&トークショー「命をつなぐ場所がある」が開催されました。また名古屋市から新しい骨髄バンク啓発資材として、ドナー登録とドナー等助成金交付事業の啓発用ラップ動画、および名古屋市立工芸高校グラフィックアート科の生徒たちがデザインしたポスターとクリアファイルが発表されました。いずれも若年層への訴求を狙いとしています。市内の献血ルームゲートタワー 26 では、春ちゃん原画パネル展（10 月 1 日～14 日）に続き、高校生による啓発資材デザインの一一般公開が行われました（10 月 15 日～11 月 30 日まで開催）。

■ドナー登録会（富山県）

10 月 28 日に富山マラソン前日受付会場である富山市総合体育館で、初めて骨髄バンクドナー登録会が行われました。県内外からマラソンランナー約 13,000 人が集い、46 名の登録がありました。

2 今季も V リーグ会場でバンク支援がスタート

バレーボールの「2017/18 V リーグ」が 10 月 21 日のプレミアリーグを皮切りに開幕しました。骨髄バンクは V リーグ機構から 2006 年以降、社会貢献活動の一環としてご支援いただいています。今シーズンは来場者の方へ V リーグオフィシャルマスコット「ブイリー」のステッカーを配布しています。試合会場でしか手に入らない限定ステッカーで、裏面には骨髄バンクからのお願いが記載されています。





3 新たに 2 市でドナー助成制度スタート

「骨髄バンクを介して骨髄または末梢血幹細胞を提供したドナーのための助成制度」が新たに 2 つの市でスタートしました。これまでに導入した市区町村は全国で 318 になります。助成内容は各自治体によって異なりますので直接お問い合わせください。

(当法人ホームページにお問い合わせ先一覧を掲載しています ⇒ HOME>ドナー登録されている方へ>骨髄・末梢血幹細胞の提供までのながれ>提供ドナー助成制度を導入している地方自治体・民間団体)

■新たに導入した自治体

○高山市（岐阜県） ○臼杵市（大分県）

4 「日本骨髄バンクNEWS」最新号第 51 号発行（予告）

12 月 6 日に「日本骨髄バンクNEWS」最新号第 51 号を発行します。「広がる・骨髄バンクパートナーシップの和」と題して、県、市、赤十字、ボランティア等の関係機関が一体となって献血・骨髄バンクの PR 活動とドナー登録を推進している愛知県名古屋市の取組みを紹介します。

なお、今号は現住所の確認も兼ねてドナー登録者全員に郵送しますが、創刊 50 号記念となる第 50 号（7 月 5 日発行）も同封のうえ郵送させていただきます。

5 当法人の会議等開催予定

■会議の傍聴をご希望の方は、事前に当法人総務部までお申し込みください。

会議名	公開・非公開	開催予定
業務執行会議	公開・一部非公開	11月21日（火）17時半～19時半 廣瀬第2ビル地下会議室
業務執行会議	公開・一部非公開	12月18日（月）17時半～19時半 廣瀬第2ビル地下会議室

コーディネーター関係者のコーナー

以下は、医師およびコーディネーターの皆さまを対象としています。

6 移植最適日での採取に向けた取組みについて

造血幹細胞移植を必要とする患者さんにとって、移植を実施するタイミングはたいへん重要であり、移植時期の自由度が高い臍帯血移植、血縁ハプロ移植等が増加する傾向が続いています。

コーディネーター期間の問題を除けば、HLA 完全一致非血縁ドナーの選択優先順位は高いにもかかわらず、患者の希望に十分に感じられていないのが現状です。

これまでも取り組んできたことではありますが、これらの状況を踏まえ、患者さんの最適な移植時期に合わせた日程調整が可能となるよう、期間短縮を含めた取組みを、ドナー側、患者側それぞれでよりいっそう進めることとしました。（次ページへ続く）

(前ページより続く)

患者側については、「移植を急いでいる」「移植時期が限られる」といったケースを適切に把握する方法や、骨髄バンクに対する最適な移植時期の提示方法について、移植調整部担当者が複数の移植施設にヒアリングを行い、検討を進めています。

検討した施策については、実施可能なものから順次導入を図ってまいります。

<主な施策>

■ドナー側

- (1) ドナーに移植時期の重要性について丁寧に説明をした上で、患者にとって最適な移植時期に採取可能な施設を提示し、調整を行う。
- (2) 可能なものについては、コーディネート行程（最終同意面談、術前健診、自己血採血）の一部を同日に実施する。
- (3) 採取施設の受け入れ状況について、より多くの情報を把握する。

■移植側

- (1) 個々の患者のニーズにできる限り応じられるようにするため、ドナー選定（ドナーを 1 人に絞る）時に移植時期に関する患者側の（精度の高い）希望を情報収集する。
- (2) 移植施設の事情（同日同週の重複不可等）で日程調整がスムーズにいかないケースについて、移植施設への協力依頼、情報発信に努める。

7

【安全情報】末梢血幹細胞採取後、発作性心房細動の診断を受け、カテーテルアブレーション治療を行った事例について

本年 3 月に非血縁者間末梢血幹細胞採取後、発作性心房細動との診断を受け、カテーテルアブレーション治療を施行する予定となった事例が報告され、「緊急安全情報」を発出しました。

その後、4 月に当該採取施設にてカテーテルアブレーション治療が施行され、外来でフォローアップが行われていましたが、9 月末をもって治療が終了しました。

これに伴い、11 月 15 日各認定施設に対して情報共有の観点から「安全情報」を発出するとともに報道発表しました。詳細は別紙をご確認ください。

8

「ドナーのためのハンドブック」追加資料の変更について <コーディネーターの方へ>

前項で報告のとおり、末梢血幹細胞採取後、発作性心房細動の診断を受け、カテーテルアブレーション治療を施行した事例について安全情報を発出したため、「ドナーのためのハンドブック」追加資料の内容を変更します。10 部同封していますのでご確認ください。

9 「造血幹細胞採取に係る緊急事態対応ガイドライン」策定 <採取認定施設関係者の方へ>

造血幹細胞採取に係る緊急事態対応については、骨髄採取マニュアル 第四版(2011. 4. 1)および非血縁者間末梢血幹細胞採取マニュアル 暫定版(2010. 10. 1)に記載されていました。

しかし、造血幹細胞採取施設における報告基準、当法人における対応・公開・調査基準が不明確であったため、健康被害発生時に情報共有の遅延が生じる事態が発生しました。

そのため、同様の事象が発生しないようガイドラインの整備を進め、このたびガイドラインがまとまりましたのでお送りします。

本ガイドラインでは、造血幹細胞採取に係る緊急事態対応について、「骨髄採取マニュアル 第四版(2011. 4. 1)」および「非血縁者間末梢血幹細胞採取マニュアル 暫定版(2010. 10. 1)」に記載されていたものを統一化するとともに、新たに造血幹細胞採取施設に対する報告基準、当法人の対応・公開・調査基準を明確化しました。

さらに、緊急時の連絡体制等を一部見直し、関係者間での情報共有を迅速に行うとともに、ドナー本人・家族への対応、再発防止に向けた対応を明文化しました。

なお、本ガイドライン発行に伴い、各マニュアルの該当項目(下記)は廃止します。

■骨髄採取マニュアル 第四版(2011. 4. 1)

- 10. 緊急事態の際の連絡体制について(P61)/11. 財団の危機管理体制について(P62)
- 15. アクシデント事例報告のお願い(P67-P70)

■非血縁者間末梢血幹細胞採取マニュアル 暫定版(2010. 10. 1)

- 13. 緊急事態の際の連絡体制について(P34)/14. 財団の危機管理体制について(P35)
- 15. アクシデント事例報告のお願い(P36)

この最新マニュアルは、当法人ホームページでもご覧いただけます。

当法人 HP > 医師の方へ > 調整医師・採取医師の方へ > 骨髄・末梢血幹細胞採取マニュアル

- 骨髄採取マニュアル【手続編】(抜粋)(2017. 11. 15 ホームページ版)
- 非血縁者間末梢血幹細胞採取マニュアル暫定版(ホームページ用)

10 年末年始の確認検査・再検査実施とSRL予約について <コーディネーターの方へ>

ドナーがすでにHLA(DNA)の情報を持っているか否かにより、対応が異なります。どちらに該当するかは地区事務局から申し送りをしますので、それに従って日程調整をお願いします。

■年末

- ① 確認検査(検査項目：一般血液検査とHLA ビーズ法)⇒12月26日(火)採血分まで
- ② 確認検査(検査項目：一般血液検査のみ)・再検査⇒12月28日(木)採血分まで

■年始：確認検査、再検査⇒1月5日(金)採血分から

■SRLの予約：1月5日～9日に採血希望の場合は、12月26日(火)14:00まで